

氏名	岡 沢 郎
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2845 号
学位授与の日付	平成17年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系神経精神医学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Atypical properties of several classes of antipsychotic drugs on the basis of differential induction of Fos-like immunoreactivity in the rat brain (ラット脳内に発現するFos蛋白を指標とした抗精神病薬の 非定型性の検討)
論文審査委員	教授 筒井公子 教授 西堀正洋 助教授 富澤一仁

学位論文内容の要旨

非定型抗精神病薬の導入により、統合失調症の治療において合理的な抗精神病薬の使用法の確立が重要になっている。Fos蛋白は活性化した神経細胞核内に一過性に発現し、中枢神経系内の薬物作用部位の特定に有用である。これまで定型および非定型抗精神病薬はラット脳内において特徴的なFos蛋白の発現パターンを示すことが報告されている。このなかで側坐核shellと背外側線条体のFos蛋白陽性細胞数の差 (atypical index)が正なら非定型、負なら定型抗精神病薬に分類することが提唱されている。本研究はこのatypical indexを用いて、我が国で使用されている抗精神病薬と新規抗精神病薬blonanserinの非定型性を比較検討した。その結果、今回検討した29薬中19薬が正のatypical indexを示し、いわゆる非定型抗精神病薬だけでなく、これまで定型抗精神病薬と考えられていた薬物の中にも非定型性を示すものが多く含まれることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、統合失調症の治療薬として我が国で使用されている抗精神病薬の非定型性を atypical index を用いて再検討したものである。定型および非定型抗精神病薬はラット脳内において特徴的な Fos タンパクの発現パターンを示す。側坐核 Shell と背外側線条体の Fos タンパク陽性細胞数の差 (atypical index) が正なら非定型、負なら定型抗精神病薬として分類し、これまで定型抗精神病薬と考えられていた薬物の中にも非定型性を示すものが多く含まれる事を明らかにした。また新規抗精神病薬 blonanserin も非定型性を示すことを確認した。これらの研究結果は抗精神病薬の合理的な使用法の確立に神経学的根拠を提供するもので価値ある業績である。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。